

# 自由が丘横山内科 クリニック 院内新聞

号外  
平成 22 年  
9 月



## 開業10周年記念 第6回横山内科クリニック納涼会

8月20日(金)午後7時より、市内東急インにて毎年恒例の納涼会が行われました。

横山院長の挨拶の後、早速院長がドラムを務めるドクターバンド「ムカキーン」【ベース 永井医師、ドラムス 横山医師、サクソ 大和田医師、ギター 内海医師、キーボード 菅原医師、ボーカル 川上医師 & 坂野医師】による演奏が始まりジャズや懐かしいメロディーに、会場は大いに盛り上がりました。

テーブル対抗ご当地クイズでは、十勝ならではという問題が多く出題されましたが、“灯台下暗し” 難問も多く、正解が発表されるたび各テーブルから歓声が沸き起こりました。途中、当院の新人スタッフである今田、鈴木、猪苧、奥田、後藤より自己紹介と仕事でのアピールポイントを紹介させていただきました。クライマックスの大ビンゴ大会では童心にかえり、「リーチ!」「ビンゴ!!」と、景品を目指して本気モードに!

あっという間の二時間でしたが、多くの皆様にお集まりいただき、十周年にふさわしい賑やかな会になりました。本当にありがとうございました。



皆さんは、やっぱりそれぞれ  
心の中にはなやみがある。自分だけ  
ではないと安心。でも気を抜いては  
いけないですね。(60代女性)

人のつながりと大切に。  
色々な方のお話参考になりました。  
(70代男性)

本当に辛い時や悩みを抱えている  
時は、こういう場に参加することを  
ためらうと思いますが、勇気を  
出して参加すると、何かしら得る  
ものがあると思います。これからも  
このとりくみを応援します!!  
(40代女性)

## グループミーティング開催

2010年度グループミーティングが8/18、19の2日間に渡り行われました。チャプレンである斎藤武先生をお招きし、和やかな雰囲気の中、みなさんの糖尿病への思いを話し合いました。当初は1型糖尿病、2型糖尿病と参加日を分けていましたが、急遽、参加人数の調整のため日程変更を行いました。お互いの糖尿病を知る機会となってくれたようです・・・



斎藤 武 (さいとう たけし) 先生 (写真)

1992年東京女子医科大学糖尿病センター非常勤講師、チャプレンとして従事。2008年東京女子医科大学を定年退職後、山梨英和学園幼稚園園長。横山院長とは東京女子医科大学時代からの長いお付き合いです。

**チャプレンとは？ 病院やホスピスで働く牧師さんです。心のケアの専門家です。**

### □■参加されたみなさんの声■□

- 糖尿病中心の人生ではなく、自分の人生をよりよく生きるために血糖コントロールしたり、治療したりするのですという、先生のアドバイスを頂く事ができ、今まで、心の重荷となっていたものが少し軽くなったような気がします。また、1型糖尿病の患者さんのお話もお聞きすることができ、参考になりました。このようなひとときを設けていただき、ありがとうございました。(50代女性)
- 今日皆さんの話を聞き参考になりました。これからも自分にあった生活をやり、皆さんの良いところを見習うつもりです。
- 年齢はさまざまでもやっぱり自分のことを大切にしていらっしゃるとわかりました。私も皆さんと仲良く、先生の事も聞きながら、命を大切にしたいと思いました。(60代女性)
- 医師は「協力」患者は「努力」することで「糖尿病」向き合う、どの言葉にも感銘を覚えました。初めての参加でしたが、とても有意義でした。時間が少ないのが残念でした。(70代男性)

